

みんなECO.



東西線東陽町駅ほか6箇所に駅補助電源装置を導入
 回生電力のさらなる有効活用による省エネ促進します。

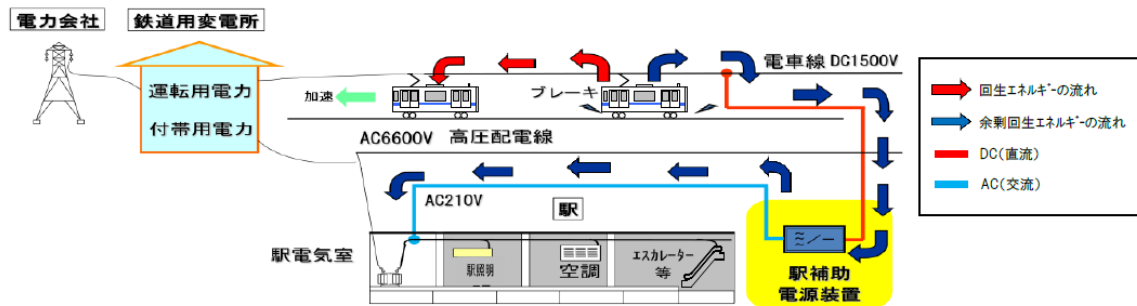
東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、2020年度に向けた長期環境戦略「みんなで ECO.」を掲げ、積極的に再生可能なエネルギーの有効活用を図っています。

このたび電車がブレーキをかけたときに生じる回生電力を駅施設等に供給することができる駅補助電源装置を2014年6月から稼働している東西線妙典駅に続き東陽町駅ほか6箇所に設置し2015年3月28日（土）始発より順次稼働いたします。

電車がブレーキをかけたときに生じる回生電力を他の走行中の電車の加速に必要な電力として使用することで省エネルギー化を図ってきましたが、使い切れない回生電力があることから、これを駅補助電源装置を介して、照明や空調、エスカレーターなどの駅施設やその他鉄道施設用の電力に変換し活用することで更なる省エネルギー化を図ります。

駅補助電源装置の稼働により、1駅あたり1日約600kWh（一般家庭の60軒分の消費電力に相当）、8駅での合計で年間約175万kWhの省エネ効果を見込んでいます。

今後も、他駅への設置検討を進めていく予定であり、引き続き環境負荷低減に貢献してまいります。



回生ブレーキで発生した回生電力※直流1500Vを駅補助電源装置を介して交流210Vに変換し、照明や空調、エスカレーターなどの駅施設やその他鉄道施設用の電力に活用します。※丸ノ内線は直流600V



駅補助電源装置

路線	供給駅	稼働日（予定）
丸ノ内線 東西線	茗荷谷	2015年3月28日
	東陽町	2015年3月28日
有楽町線	妙典	稼働中
	西船橋	2015年3月31日
	池袋	2015年3月28日
	有楽町	2015年3月31日
	豊洲	2015年3月28日
	新木場	2015年3月28日